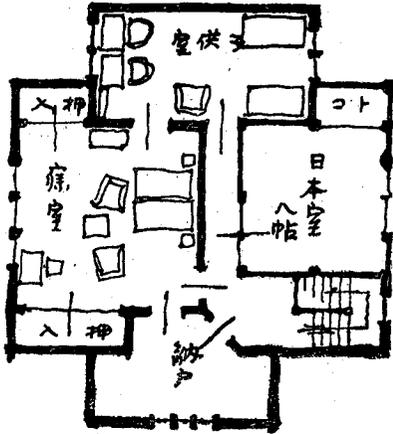


同階上平面



坪	數	
階	下	二四・五坪
階	上	二三・〇坪
合	計	四七・五坪
外涼亭テラス		七・〇坪
工	費	
坪	當	二二〇圓
總	工	費
		一萬一千圓

市街地に建つ住家

能 瀬 久 一 郎

今度は市街地に建つ住家をお目にかけてませう。道路に面した長方形の敷地で、坪數五十二坪ばかり、南をあけて、敷地の北よりに家を建てます。先づ家の中央にポーチをつけ、玄関に入るこ、左手に居間があります。廊下の突き當りは臺所を取り、土間からすぐ浴槽の火を焚けます、女中室は三疊大で階段下をその押入こします。玄関の右手はすぐ便所で、今後の市街地の住家は小さな小さくても水洗式にせねばうぞせう。居間から書齋こ食堂に通じます。書齋は四疊半大、窓の外は噴水を付け兩側に腰掛なご取付ける。食堂は六疊大、居間から食堂の外は巾一間のテラスこします、上は藤棚を取付けて、西南の隅の涼亭に通じます。二階は、寢室、子供室、納戸、日本室の四室に

なつてゐます。

日本室は八疊で不時の來客の寢室によろしい。納戸は又小供室にして、三階屋根裏を取つて納戸にするもよろしからう。

庭は各人このみこのみに草花を作り、樹木を植ゑ、日時計なご置くのもいゝでせう。

歩道を石敷にして、セメントで目地をつけないで一寸くらひの目地にしてその目地に芝を植ゑ付けるのは床しいものです。

又石ばかりの庭にして、その石こ石こ間に草花や花の多い小灌木の類なごを植ゑるのも面白いでせう。

塀は建物の壁こ續けて、それに蔦を這はせるこよろしい。(五月二十三日)